

## 今月のコンテンツ

- 労務管理ニュース「労務管理ホットニュース」
- 非正規社員への対策
- 東芝うつ病・解雇事件
- 認知行動療法
- 「聴く」コミュニケーション
- ビジストスタッフの非日常…細谷、西川

## 厚生年金保険料が変わります！

毎年恒例ですが…9月の厚生年金保険料から保険料率が引き上げられます。その結果、

9月からの厚生年金保険料率は17.474%となり、これを従業員と会社と半分ずつ負担、つまり8.737%負担することになります。この引き上げ



は、平成29年まで続きますので、社会保険料の上昇を頭に入れておきましょう。なお、健康保険料は毎年3月に見直されていますので、9月には変更になりません。

ちなみに、9月の社会保険料は、年に一度の保険料見直し月なので、「算定基礎」の結果を反映させなければなりません。保険料算出の根拠となる「標準報酬月額」が変更になっている場合、社会保険料も変更になりますので注意しましょう。また、社会保険料の控除は当月徴収（その月の保険料をその月の給与から控除する）なのか翌月徴収（その月の保険料を翌月の給与から控除する）なのかで計算が変わってきます。間違いのない処理をしましょう！

## ついに厚生労働省と国税庁がタッグ！

法人であれば社会保険に加入するのが義務になっていますが、実際には法人の数と社会保険適用済会社数には大きな乖離があります。役所の担当窓口が異なると、情報は行き来しない、というのが今までの常でしたが、ついに方向性を変えるようです。

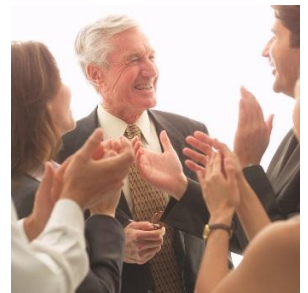
**厚生労働省は、国税庁が保有する税徴収データを利用し**、法人でありながら厚生年金への加入を不正に行っていない企業を特定して指導に乗り出すことになったのです。2015年にも本格的に実施する予定です。

## いじめ・嫌がらせが急増する職場！

厚生労働省から毎年発表されている「個別労働紛争解決制度施行状況」の集計結果から、昨今の労使紛争の傾向を知ることができます。今回発表された平成25年度の統計では、総合労働相談件数全体としては相談件数が減っているものの、「いじめ・嫌がらせ」に関する紛争が急増しているという結果になりました。

いじめ、嫌がらせは、従業員個人の問題ではありません。セクハラ・パワハラといったハラスメントも関係している可能性があるのはもちろん、職場環境全体の問題です。いじめ・嫌がらせが元になってメンタルヘルス不調を起し、労災認定や訴訟提起といった大きな問題に発展する可能性のある、会社にとっては見過ごせない問題です。従業員が安心して気持ちよく働ける環境でなければ成果は出しにくいものです。従業員の成長なくして企業の成長発展はないのですから、何から手をつけるべきか考えましょう。

そこでビジストでは、労務管理を会社のルールを徹底する「管理」の側面と、従業員が働きやすい環境をつくる「教育」の視点でお客をサポートしています。そうはいつてもなかなかアクションを起こしにくいのも分かります。そこで10月に職場環境を考える勉強会を企画しました。下記と同封のご案内をご覧ください！



## 【News 読者様限定情報】

ビジストでは、10月3日（金）16時から、経営者様や人事労務責任者様を対象に、コミュニケーション勉強会を開催します！会場はビジストセミナールームで、勉強会後には懇親会も開催します！費用はかかりません。ぜひご興味のある方はご参加くださいね！人数限定なので急いで！

## 編集こぼれ話

季節は秋モードにゆっくり移ってきています。例えば夜の虫の鳴き声。家の中で聞いていても、ひんやりとした草木の香りが漂ってくるようで心落ち着きます。お月様もひと際美しく、いつもは意識していないのに、秋になると夜空を見上げて月の存在を再確認してしまいます。まん丸の月を見ていると、夜空が自分にOKのサイン「○」を出してくれているようで頼もしく「大丈夫、なんとかうまくいく！」という気持ちになるから不思議です(笑)中秋の名月、皆様是非

鑑賞してみてくださいね。

今号のスタッフの非日常の記事にて、本人から皆様にご挨拶させていただいておりますように、弊社スタッフ西川が9月20日を以って退職いたします。私と同時期の入社でしたが、豊かな知識と経験で会社の即戦力となり活躍しており、私の「教えて下さい！」攻撃にも常に穏やかに対応して貰っていました。新たなステージに向けて更に大きく飛翔しますようにとスタッフ一同願っております。また、今までお世話になりましたお客様に改めまして心より感謝申し上げます。(モリモト)

## 非正規社員への対策

大西 美佳

非正規正社員（パート、アルバイト、派遣、契約社員等）の全雇用に占める割合は、過去最高の36.7%（2013年労働力調査）となっています。

去年4月施行された**労働契約法**では、有期契約者を5年を超えて雇用した場合、本人の希望があれば、**無期雇用に転換**させるルールが導入されました。

また、2016年10月から大企業では週20時間以上のパートも社会保険適用となります。また、来年4月から適用される改正**パートタイム労働法**では、仕事内容や人材活用の仕組みが正社員と同じパートなら、正社員との差別的取り扱いが禁止され、**均等待遇**を求められます。このように有期契約者に対する法整備が進んでいます。

パートだから時給でよい、処遇も低くていい、賞与なし、退職金なし、雇止めもできるというスタンスは通用しなくなってきました。

労務行政研究所調べによると、無期雇用転換ルールの対応として、「通算5年雇用した労働者から申し出があった時点で、無期雇用に転換する」という企業は、46%と最も多い。以下、「契約更新により通算5年を超えることがないように運用する」37%、「通算5年を超えるまでに、無期雇用に転換していく」17%。「まだ未定、わからない」22%と、まだはっきりしていない会社も多く存在します。

ただ、すでにルール化を進めている会社の状況を見ると、雇入れ後3年で、無期雇用に転換させるか、それまでに契約終了させるかを決めるという会社が多いようです。

最近、よく話題になる**人材不足、採用難**のニュース。

ある飲食店ではオペレーションの問題と、特に深夜の人手不足で多くの店舗が閉店を余儀なくされています。このように、有名な大手企業も人手不足に悩まされています。

このような状況の中で、もともと採用が難しい中小企業は、さらに人材を確保することがもっと困難になることは明白です。

単純に職安やちらしで募集しても人が来ないという現実。

ですので、大手企業では、すでに、有期契約者の**正社員化、無期雇用化**へと対応を進めてきています。良い人材を確保していくため、生き残りをかけていくために、大手企業以上に、これから中小企業はもっと工夫し、知恵を出していかないと、人の採用ができなくなる時代がすぐそこにやってきます。零細企業の弊社も危機感を感じています。その対策として、取り組むべきことは

- ① 良い人を採用する仕組み
- ② 人を育てる仕組み
- ③ 定着させる仕組み
- ④ 処遇する仕組み

この4つの仕組みを構築していくことです。



ビジストではお客様のこれらの課題を一緒に解決できるよう知恵を絞っていきます。新しいアイデア、他社での成功事例などの情報を収集し、お客様へその情報提供と仕組みの提案に向けて、これから集中していきたいと考えています。

## 東芝うつ病・解雇事件

磯部和代

メンタルヘルスの対策に関して、平成26年3月24日に興味深い判決が出ました。

うつ病の診断がないまま長い欠勤、その後会社の休職命令がでて、復職後、欠勤、再度の休職で、休職期間満了、自然解雇となった東芝の社員に関する最高裁判所の判決です。東芝では休職期間前の復職を説得しましたが、本人は復職できないとし、解雇に至るわけですが、本件解雇が業務上の疾病であるうつ病に罹患して休業していた間になされた違法無効な解雇であるとされました。

労災認定も業務上で認定され、雇用契約が存続しているとし、地位の確認と判決までの賃金支払い、慰謝料を会社側に支払うことを命じたのです。

特筆すべきことは

①本人は神経科への病院の通院や病名、薬剤の情報等を会社に申告していませんでした。これでは会社として、安全配慮義務が果たせません。しかし、今回はこういった情報は自己のプライバシーに属する情報なので会社に申告しなくても、会社側がそのような申告が期待しがたいものであるという前提のもとで労働者の健康に留意すべきであるとなりました。

②業務を離れて9年も療養を続けていても寛解しないのは本人の個体としての脆弱性（つまり、もともとこの社員はうつ病になり易い人ではなかったのか）があるから、会社としては損害賠償請求の減額を望みました。しかし、それは関係ないとしています。長い間、裁判を行うことで心理的負荷も相当であるから特別この社員だけが弱い人ではないと裁判所が判断しました。

ざっくりと言って平成13年から本判決のあった平成26年までの長期間における未払いの賃金を会社が支払うことになり、このような長期間での会社への責任が認められたわけです。

ここで会社が受け止めなくてはならないことは、社員がメンタル不調になった時そのことを申告していなくても、何かしら配慮していかなければいけないということです。本人が大変そうなら、業務の軽減などしなければなりません。また、本人の個体としての脆弱性が認められるのはなかなか難しいということです。ますます、「近頃の若いものは弱い」「昔ならなかった」という考えは改めないといけなくなりました。



## 認知行動療法

尾崎 貴子

メンタルヘルス問題で悩んでおられるお話を、よく耳にします。仕事でのご相談以外でも、友人や、友人のご家族から、悩まれているお話を聴くことが多々あり、とても悩ましいと感じています。再発を繰り返すと言われるメンタル不全に対し、有効であると言われる治療法(心理療法)として、認知行動療法があります。厚生労働省も認めています。

認知行動療法の「認知」とは「物の受け取り方」や、「ものの見方」のことです。認知には、何かの出来事があった時に瞬間的に浮かぶ考えやイメージがあり「自動思考」と呼ばれます。自動思考が生まれると、それによって、色々な気持ちが動き、行動することになります。

認知行動療法は、自らが「自動思考」に気づいて、ストレスを和らげる考え方が出来るように【出来事-自動思考-感情-行動の相互関係】に注目した治療法です。

私達の気持ちや行動は、その時に頭に浮かんだ「考え」(認知)によって影響されます



例えば、出来事として、仕事でのミスがあった⇒ 認知(自動思考)として自分を責める、ネガティブな予想を立てる、ひたすら回避しようとする ⇒ その時の行動として、仕事の能率は低下する ⇒ 落ち込みや無気力な気持ちになる⇒疲労倦怠感、胃が痛くなる、…。

これらの反応が相互作用して、ミスへの対処をすれば良いのにそれをせずに、悪循環が起きてしまう…。

同じ体験をしても、それをどうとらえ考えるかで、その時に感じる気分はずいぶん違います。自動思考に気づき、考え方を柔らかくして、気分を軽くしストレスを減らす事を認知行動療法では手助けをしていきます。

私が認知行動療法を学んだ際に、自分のストレスを感じる出来事から認知を考える体験を行いました。体験から自分の自動思考に気づき、視点を変えて柔らかく考えようと思うことが出来ました。日々のストレスの積み重ねが、メンタルダウンにつながります。日々ストレスを感じる出来事について、自分の認知(自動思考)を知ることはストレス予防にもつながると考えます。



## うわさの傾聴カフェに参加！ 「聴く」コミュニケーション

森本 雅子

私たちは日常のさまざまな場面で、話の聴き役になることがあります。たまの様子伺いで電話した親のととりめもない愚痴話、友人の困り事、会社ではお客様の苦情の申出や、後輩の仕事の悩み等…愚痴や相談事など、話し手の感情が織り交ざった話を聴いている間、果たして私たちは何を考え思っているのでしょうか。

「些細なことで腹を立ててるなあ」「私だったらそうは思わないな」「自分勝手な言い分だな」

私に限って申し上げると、上記のようなことを頭に浮かべながら、漠然と相手の話を聴いていたことが多かったように感じます。



このような聴き方を続けてきた私が先日、弊社主催の「傾聴カフェ講座」を体験いたしました。

講座ではまず「聴く」事の効果についての説明があります。

聴き方によっては、話している相手との関係が負のサイクルにはまってしまうとのこと！真剣に聴いていないことが相手に伝わると、反発心を持たれたりして、信頼関係が失われてしまうのです。

いかに巧みに、相手(家族・上司・部下・顧客など)に自分の思いや考えを言葉で伝えるかという話し方のノウハウではなく、思いのままに放たれた言葉を傾聴して、相手の気持ちを理解し受け止めることでコミュニケーションを深める…。

「傾聴」の本当の意味と効果を知り、今まで数々の人の「気持ち」の入った話を聴いてきたにもかかわらず、傾聴しなかったことにより、話の行間にあった真のメッセージを受け取ることが出来なかったと考えると、信頼関係を築く機会を逃していたと残念でなりません。

傾聴カフェでは参加者が、話し役・聞き役・観察者と役割をローテーションで回して実践練習を行います。

話し役の時は、聴き役のリアクションが気になり、大きくうなずいてもらったり、感情をくみ取った言葉が返ってくると嬉しく、聴き役の方との心の距離が縮まった感じがしました。

逆に聴き役に回った際はどうふるまえば話を真剣に聴いているか、相手の気持ちを理解しているか、ということ伝えられるのかを意識しました。今まで使っていなかった自身の心の傾聴機能を初めて稼働させると、話の中に込められた語り手の心情が伝わってきたように感じました。

講座に参加した後も仕事で、プライベートで色々な人の話を聴く機会がありますが、傾聴こそ相手の気持ちを知ることができる大切なコミュニケーション手段だと意識するようになって、話を聴くことが苦ではなくなり、むしろ楽しく有難いことだと感じてきています。

部下の言い訳を聴く時、お客様からの苦情を伺う時、はたまた家族の愚痴を聴く際などは是非傾聴を実践していただければと考えます。

弊社セミナールームにて毎月一回(9月は第三水曜日)13:30～15:30まで「傾聴カフェ講座」を開催しております。

例えばこれから営業職に就かれる新入社員さんや、部下の話を聴く機会が多い管理職の方などに傾聴を実践していただければ、お互い分かり合えている!と感じる瞬間を味わっていただけると確信しております。

その感動的な瞬間を楽しみに、是非傾聴カフェにお気軽にご参加下さいませ。話し役になって日頃の愚痴を初対面の方々に放つのもなかなか爽快ですよ!





## ビジスタッフの**非**日常！

### 日本の代表的避暑地に出没！

細谷 明子

今年はどこへ行こうかな～？

毎月1回食べ歩きをしている友人たちと、年に1回旅行することが昨年からの恒例になっています。今年は北海道の予定でしたが、飛行機の旅費があまりにも高いこともあって即変更！行きたかった軽井沢をリクエストしたところ、OKとなったので行って来ました！軽井沢に行きたかったのは、千住博さんの美術館があるからです。シャープのテレビ、アクオスのCMで吉永小百合さんが滝の絵をバックに登場していたのを覚えていませんか？その滝の絵を描いたのが千住博さんなのです。

さてさて…私たちの旅行のパターンは、レール&レンタカーです。昨年山口に行ってから、レンタカーの便利さを実感したのでやみつき！今回も迷わずレール&レンタカーで軽井沢旅行を満喫しました。今回の旅行は友人の会社の保養所を利用させてもらったのですが、



その場所が北軽井沢だったので、軽井沢駅からは車で1時間くらいかかります。車は絶対に必要な旅行だったのです。3人だからいつものコンパクトカーしかし…3人とも普段はほとんど運

転しないので、少々おっかなびっくりなところは免れません…でも、その分超★安全運転なので良いともいえます。そうそう、レンタカーの良いところは、買い物をして車も運んでくれるところです。なにせ食べ歩き会の3人ですから、買うものといったら食べ物です！今回も事前に軽井沢の本を買って回し読み！それぞれ事前に行きたいところや買いたいモノを出し合っ、それを全てクリアするように予定を立てました。

それにしても軽井沢はさすが日本の代表的な避暑地でした。ナビの案内するままにゴージャスな別荘地の付近も通り抜けたのですが、なんだかスケールが違います。こんなところで夏の間過ごせる人っていうのはどんな人なんだろう？と想像してしまいました。それに、やはり、というべきか、ゴージャスなレストランが多いのです。ランチ8,000円などというお店も駐車場にはズラリと高級車が並んでいるのですから…はぁ～ため息ばかりです。

私たちはジョンレノンが愛したロイヤルミルクティーが有名なホテルでお茶をただけでも優雅な気分になれたからああ安上がりでもこの時間が大切なひと時なんだなあ～と実感して、あっという間の2泊3日が終了したのでした。来年はどこへ行こうかな～？



### 旅路の果てに…

西川 佳久

世の中の学生さんたちが夏休みをむかえるこの季節、JRから「青春18きっぷ」というチケットが販売されます。

青春18きっぷは、JR全線の快速列車・普通列車に乗車でき、1回分で1人1日乗り放題、5回分セットでの料金が11,850円(1回あたり2,370円)と、使い次第で大変安価に旅ができます。

この切符を利用して、私は大阪から和歌山→紀伊田辺→新宮→亀山→名古屋と、紀伊半島を一周しようという計画を立てました。

これまで、新宮までの旅は何度か経験していますが、新宮を経由して亀山方面へは行ったことがないので、とても楽しみに出発の日を待ちました。

そして当日、まずはJR阪和線で和歌山駅へGO!

コンビニで朝食のサンドイッチとコーヒーを買い込んで、予定の列車に乗車し車窓を眺めていると、泉佐野市を超えたあたりから、同じ大阪なのかな？と思えるような長閑な風景が…

早速の眺望を楽しみながら、あっという間に和歌山に到着。



和歌山駅もローカルな感じを醸し出しています。

次の列車は…

8:05発の紀伊田辺行き。

なかなかロングな1本で、紀伊田辺到着予定が9:55!

1時間50分の乗車で、どんな素敵な風景に出会えるのでしょうか。

その列車が到着するやいなや、そそくさと車内へ。

かつてどこか主要な路線で活躍していたであろうタイプの列車に感激しながら、旅の続きを楽しみます。

1時間50分という時間も、あれよあれよと紀伊田辺…記念撮影してみました。



この駅では、次に乗車する予定の列車の出発時刻まで少々時間があるので、

妻に頼まれていた南高梅のお土産を探しに駅をでました。

駅前散策を終え駅に戻り、次は新宮行きの各停に乗車。

ここで不穏な車内放送が…串本が大雨？さらに倒木が線路を塞いでいる！ということで白浜を少し過ぎたところにある周参見駅からは先へ進めず、目的を達することなく大阪へ戻り、ゴールの名古屋へは東海道で向かうこととなりました。(ToT)

旅路の果ては同じ名古屋ですが、慣れすぎた東海道の旅になってしまい少々残念。

まあなんとかその日中に名古屋にたどり着けてよかったです(^\_^)

旅はなにが起こるかかわからない…そして私の人生の旅も一つの岐路にさしかかったようです。

私事ですが、9月20日付でビジスタを退職することとなりました。皆様、1年余りの短い時間でしたが、色々とお世話になり本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展を

お祈り申し上げ、お礼かたがたご挨拶いたします。

